

平成 30 年 5 月 31 日

金沢区長

所在地： 金沢区釜利谷南 2-8-1

法人名： 社会福祉法人 すみなす会

理事長： 木下 勝裕



平成 30 年度 横浜市釜利谷地域ケアプラザ事業計画書等について

平成 30 年度 横浜市釜利谷地域ケアプラザの事業計画に係る下記書類を提出
します。

【施設名】

【提出書類】

- (1) 平成 30 年度 横浜市釜利谷地域ケアプラザ事業計画書
- (2) 平成 30 年度 横浜市釜利谷地域ケアプラザ収支予算書
- (3) 平成 30 年度 自主事業計画書・収支計画書
- (3) その他、関連書類

担当： 社会福祉法人 すみなす会
釜利谷地域ケアプラザ

所長 藤井 万里子

電話： 045-788-2901

メール： fujii@suminasu.or.jp

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業計画書

【施設名】

釜利谷地域ケアプラザ

1 全事業共通

地域の現状と課題について

釜利谷地区には平成 29 年 3 月現在約 31,540 人が暮らしている。世帯数は約 14,150 世帯、平均世帯規模は 2.23 人/世帯。平成 24 年～29 年の期間で見ると人口は減少が続いている。65 歳以上の高齢者がいる世帯は増加しており、高齢者の単独世帯、高齢者の夫婦のみの世帯も増加している。29 年度時点の高齢化率は 29.6%で、市、区の平均を上回っている。高齢化率は 5 年間で 4.8%上昇している。釜利谷地域ケアプラザの担当地域は、金沢文庫駅の西側に広がる住宅地と、丘の上に開発された住宅地の 13 町内会となる。地縁関係で成り立っている旧住民層の地域と、開発による新住民層の地域があり、地域の特性が分かれている。

高齢世帯の多い地域は、坂が多い地形であり、バスが通っていない地域もあり、通院、買い物、駅への移動が困難で、活動が制限されやすい課題がある。地域には居宅サービス事業所や入所施設も多くある。また、高齢者向け賃貸住宅も増え、地域とのつながりが課題となっている。

各地域で主体的な活動が多くあるが、同様の課題をそれぞれで抱えている。他地域との交流や情報交換を実施し、地域が主体となり悩み等の解決に向け支援し、活動が継続できるようにする。地域から健康づくり、認知症予防に対する講座の依頼が増えており、地域で取組む意識が高くなっている。また、ちょっとした困り事を身近な住民同士で解決する「ちょいボラ」が立ち上がる地域もあり、全体に広まるよう地域の方々と関係を深め、共に地域での見守りや支えあいの仕組みづくりに取組む必要がある。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

高齢者、子ども、障害者など、全ての地域住民の相談に対応できるよう部署間で協力し、相談者に対し情報提供ができるよう体制を整える。

自主事業や出張講座では対象に合わせた様々な情報を提供する。また、地域の情報収集を行い、事業に反映させる。

関係機関と連携し、相談内容に応じた質の高い支援が行えるよう努める。また、事業に反映することで、地域課題の解決に努める。

(2) 各事業の連携

それぞれの専門性や特性を活かし、お互いの職種や各部門の役割を理解し、個別支援から地域支援まで幅広く対応できるよう、定期的に意見交換、情報交換を行い、地域の力を生かしながら地域住民とともに課題を解決する取組みを進める。

毎月の 5 職種連携会議では、地域包括支援センター 3 職種と生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターが把握した課題やニーズを共有し、有機的な連携を持って解決に努める。それぞれの専門性や特性を活かし、地域目線に立った支援を行うことで、総合的な地域支援を行っていく。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

地域ケアプラザ管理運営に関する協定書を踏まえ、必要職員を適正に配置する。

自己育成シートを30年度も作成し、職員一人ひとりが明確な目標を持ち、上席者と共有し、年度末には振り返りを行い、人材育成に取り組む。

各部署別、ケアプラザ全体の年間研修計画に基づき、常勤、非常勤は研修に参加し、専門性の向上を目指す。研修参加後は報告書を作成し、内部会議にて報告し、全職員で共有する。

ケアプラザ研修委員会主催の研修は、ケアプラザ全体で取り組むべき課題についての研修を企画し実施する。

公的機関として、地域住民、地域団体及び事業者に対して公正・中立な立場で業務にあたる。地域包括支援センター、居宅介護支援事業所においては、利用者、家族が事業所を自己選択、自己決定できるように、区役所からの表を掲示する等情報を提供する。複数のサービス事業所の特徴やサービス内容などのパンフレット等を使用しながら説明を行い、地域の方の活動拠点として、公平性、透明性のある運営を意識し、適正な情報提供とサービス提供により公平性中立性を確保する。

個人情報保護の取組みとして、個人情報漏えい防止チェックシートを非常勤も含め全職員が記入し、意識づけをする。会議、毎朝の申し送り時に繰り返し注意喚起し、漏えい防止、取扱っている緊張感等の意識啓発を行い、基本ルールを徹底する。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

職員一人一人が築いたネットワークをケアプラザ内において共有し、地域住民が福祉・保健サービスやより専門的な支援等を身近な場所で総合的に受けられるよう、地域の福祉保健活動を行っている団体、グループ、個人、事業所等が情報や課題を共有し、お互いに連携を図り、それぞれの活動の推進や地域課題の解決に向けてネットワークの構築を目指す。地域での見守り・支えあいが強化され、早期発見・早期対応等、課題解決につなげる。様々な場や機会を通じて、地域住民や各種事業者、関係団体等から幅広く意見を求める。高齢者支援については、地域の保健・医療に関わる機関や組織、地域人材等、様々な社会資源が有機的に連携するネットワークを構築する。

(5) 区行政との協働

区の地域包括ケアシステムの構築に向けた指針、運営方針や課題、取組み目標として掲げている事柄をよく理解し、それに基づきケアプラザで把握した地域課題や地域情報を共有しながら、協働で地域支援・地域づくりに取り組む。また、地域福祉保健計画推進するため、地域の身近な福祉・保健施設として、また、地域支援チームとして担うべき役割を果たし、第3期地域福祉保健計画の実現を目指す。また、区計画の推進が進むよう、ケアプラザとしての役割を果たしていく。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

第3期地域福祉保健計画の中間期にあたり、計画の実現に向け、地域住民、関係機関、並びに地域ケアプラザ内各部門と連携して事業に取り組む。また、地域包括支援センター、生活支援体制整備事業と協働での地域づくりに努める。主な取組みは次の通り。

- ・生活圏で住民同士が出会い、知り合える環境づくりを行う。
- ・健康寿命を延ばすことを目的とした事業を継続して実施する。
- ・地域ケアプラザの特性を活かした福祉体験、職業体験の場を提供する。
- ・地域包括支援センター並びに生活支援体制整備事業と協働で「見守り活動」を行うとともに、「認知機能が低下した方やその家族」や「地域での支えあい活動」の支援に取り組む。

目標件数 延べ300件

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

福祉保健活動団体が安定した活動を行えるような場の確保や調整を行うとともに、高齢者、乳幼児、障がい者が安全に館内を利用できるよう整備に努める。また、場の提供にとどまらず、団体の活動に関わりを持ちながら継続した活動に繋がるよう支援をするとともに、必要に応じて資料や情報の提供を行う。

利用率については、前年度を上回る実績を目指す。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

誰もがボランティア活動に参加できるよう、幅広い選択肢の中から自身に合った活動に参加できるような環境づくりと啓発活動に努める。また、ボランティア活動を“ボランティア”と意識せず、行動が結果的に地域の助け合いにつながるようなコーディネートを目指し、将来の地域での担い手としてつなげていく。また、大学生向けの講座の開催を行うとともに、障がいのある方もボランティア活動に参加できる環境づくりを行っていく。「よこはまシニアボランティアポイント事業」の研修会を主催し、高齢者が楽しみながらボランティア活動ができるような環境づくりを行っていく。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

関係機関との会合や共催事業を通じて、相互での情報収集及び情報提供を行うとともに、地域により近い福祉・保健の施設であるという特性を活かした情報把握を行い、必要な人に必要な情報が届くよう努める。また、地域包括支援センター、生活支援体制整備事業との共催による出張講座においては、地域の現況や社会資源の把握とともに、地域に応じた情報提供に努める。さらに、他区の活動やNPO団体等の活動に参加し、そこで得た情報を地域に提供していく。

広報紙・チラシの発行、ホームページや区の広報を活用するなどし、多くの方に情報が届くよう努める。さらに、横浜市のポータルサイトで公表されているデータ等を基に、地域に合わせた資料を作成し、数字で見る地域特性も伝えていく。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

所長に対して週に1回、生活支援体制整備事業としての地域での関わりや、地域で得た情報を報告する。

毎月開催される生活支援コーディネーター連絡会で得られた情報や区内の生活支援体制整備事業の動きを共有するため、連絡会で配布された資料等を5職種で共有する。

地域アセスメントに基づいた「地域支援方針（目標）」を設定し、釜利谷地域ケアプラザ全体で事業を実施する体制を整え、介護予防・生活支援に関する取組みを検討し実施に繋げる。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

Ayamu（地域介護 地域包括ケア応援サイト）のデータ更新を月に一度確認し、新しい情報が常に関連できるようにする。

住民主体の地域活動や生活支援サービスを提供している市内事業者等の状況把握に努め、地域活動・サービスリスト等にまとめる。

地域資源の情報「釜利谷みんなのリスト」は今年度で3年目となるが、今年度も更新し、新しい情報が必要な各関係機関の手元に届くよう努める。

個別のニーズから、地域の高齢者の生活課題やニーズを把握する。

(3) 連携・協議の場

昨年度発足した、地域で活動している団体の情報交流の場「つながりの会」を引き続き継続させ、情報交換や共通する課題を明らかにし、解決に向けた話し合いの場を定例で年2回開催する。また必要に応じて、定例外でも開催する。

地域の自治会・町内会のホームページ作成者の情報交換の場「ホームページ情報交換会」を今年度も引き続き開催し、テクニカルな情報交換や閲覧者の増に向けた対策の検討、新たにホームページを開設した地域の支援を行う。

年に2回開催される協議体「かまりやーの」を通じて、住民や介護関係の事業所の専門職等から地域のニーズを把握し、これからも住み慣れた釜利谷で生活していくために、ニーズから出た地域の取組みを支援する。

住民から地域の取組みに関する相談があった際は、必要に応じ関係機関に繋いだり、必要な情報を提供するなど、一緒に取組みの創出に向けて検討を行っていく。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

近隣のケアプラザと、必要に応じて情報の交換や提供を行う。また、具体的な取組みに繋げていくよう努める。

自治会・町内会の枠に縛られない取組みについては、社会参加による介護予防に繋がる情報の共有が出来るようにする。

住み慣れた釜利谷で生きがいをもって出来るだけ長く暮らせるよう、生活支援を推進し、社会参加に繋がる取組みや生活支援体制整備事業について周知に努める。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

地域の多様な活動をまとめた「釜利谷みんなの情報シート」を引き続き更新作成し、関係者間での情報共有と活用ができるようにする。

地域包括支援センターの機能や目的を周知し、顔の見える関係を築くために、医療機関・居宅介護支援事業所等の関係機関へ定期的に訪問する。

地域福祉従事者とのネットワーク構築のため、出張講座や介護予防教室、地域のサロン等に出向き、情報収集や顔の見える関係作りを行う。

② 実態把握

総合相談件数、介護保険申請数（予防を除く）をエリア別に集計・データ化し、地域特性の把握・地域分析を行い、次年度の事業計画に役立てる。

各事業でのアンケート結果で参加者が希望する講座の分析を行い、事業に反映する。

地域に積極的に出向くことで地域福祉従事者との連携を図り、個別ニーズや地域のニーズ、インフォーマルサービス等の把握を行う。

地域福祉従事者と定期的な連絡を取り、地域の現状把握や潜在的なニーズの発見と把握に努める。

③ 総合相談支援

高齢者に関する幅広い相談内容に対応できるよう、最新の地域情報の把握に努め、情報提供を行い、ワンストップで必要なサービスにつながるよう支援するとともに、必要に応じて関係機関や事業へつなぐ。区からの相談票で支援が必要と判断したケースや、継続的な関わりが必要なケースはフォローを行う。

出張講座や講演会の際には、気になる方への声掛けや個別相談を行い、潜在的ニーズの掘り起こしや早期の関係づくり、家族支援のきっかけにつながるよう努める。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

・ 成年後見制度の取組み

制度の周知や相談の掘り起こしのため、講座と個別相談会を開催し、普及啓発に努める。成年後見制度の利用が必要と思われる方に対し、十分な説明を行い、申し立てまで切れ目のない支援を行う。

第三者に後見人を依頼したいケースについては、区役所、成年後見ネットワーク関係者と連携し、適切な後見人が選任できるよう紹介を行い、円滑に申し立てが進められるよう医療機関との情報共有や連携を行う。また、その後も継続的な情報共有を行い、必要に応じて会議の開催や同行訪問などの支援に努める。

・ 消費者被害防止の取組み

近隣の郵便局や銀行と随時情報交換を行い、警察や消防の方と顔の見える関係づくりに努める。

町内会での出張講座や各事業でのミニ講座を通して、最新の情報提供と個別相談対応を行う。高齢者だけではなく、幅広い世代に周知を行うため広報誌で呼びかけるなど、地域で支え合い普及啓発・被害防止に努める。

② 高齢者虐待への対応

高齢者虐待防止、早期発見に関する取組みとして、介護支援専門員・民生委員向けに勉強会を開催する。介護者のつどいや認知症サポーター養成講座等の事業で、高齢者虐待の正しい理解や地域包括支援センターが高齢者虐待の相談窓口となっていることを周知する。各関係機関訪問時やインフォーマル団体との連絡会等で、対象者の把握や高齢者虐待に関する情報を提供する。

虐待事例が発生した際には、区との情報共有・支援の方向性を検討し、各事業所や地域福祉従事者と連携して対応を行う。

介護支援専門員や地域福祉従事者からの虐待相談・情報提供が主な相談経路となるため、日頃から居宅介護支援事業所や地域福祉従事者等との顔の見える関係作りに努める。

③ 認知症

認知症に関する正しい理解の周知のため、各町内会やエリア内の小中学校等へ出向き、認知症サポーター養成講座や講演会などで普及啓発を行う。

包括エリア内のキャラバンメイト連絡会を実施し、キャラバンメイト同士の交流と情報共有に努める。

相談しやすい関係づくりを目指し、事業所・医療機関・地域福祉従事者と普段から訪問等で顔の見える関係を構築し、認知症初期集中支援チームと連携し、早期介入ができるよう努める。

認知症の方やその家族が気軽に参加できる場として「かまりやサロン」を定期的を開催し、介護者支援・情報提供などを行う。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

地域の要望に応じて、介護保険制度、地域包括ケアシステム、介護予防、成年後見制度等の説明を実施する。民生委員とケアマネジャーの連携構築の為に情報交換会を開催し、顔の見える関係づくりに努める。

積極的にエリア内の地域密着型サービス事業所の運営推進会議に出席し、個別の相談や地域のインフォーマルサービス、地域資源の情報提供を行い、随時連携を図る。

地域資源の情報を整理し、民生委員・ケアマネジャーに情報提供する。また、認知症の早期対応では認知症初期集中支援チームにつなげられるよう情報共有を行っていく。

②医療・介護の連携推進支援

金沢区主任ケアマネジャー部会、金沢区医師会、金沢区在宅医療相談室と連携した情報交換会、薬剤師会との情報交換会、病院の医療ソーシャルワーカーとの情報交換会を開催する。

釜利谷地域の医療・介護の連携を図るために、西金沢ケアプラザと協働で、エリア内外の医師、医療ソーシャルワーカー等との情報交換会を行い、「情報シート」の有効活用の検討、ハンドブックかなざわの修正や更新、周知を図る。

金沢区内包括、金沢区医療相談室、医療ソーシャルワーカーとの情報交換会を行う。

金沢区内の主任ケアマネジャーと協力し、医療従事関係者との定期的な研修等を開催する。

金沢区在宅医療相談室と連携し医療・介護の連携を図る。

③ケアマネジャー支援

ケアマネジャーへの支援について、多問題、支援困難ケースへの対応は、随時同行訪問等を行うとともに、区役所や各相談機関と連携し、サービス担当者会議やカンファレンスの開催を支援する。また、個別ケース地域ケア会議等の開催に向け、情報提供と支援を行う。

包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備のため、関係機関と連携し、ケアマネジャー同士のネットワーク機能強化、ケアマネジャーの質の向上のために必要な研修や事例検討会を金沢区主任ケアマネジャー部会と協働で実施する。

新任ケアマネジャーの為の研修を企画し実施する。

エリア内の「主任ケアマネネットワーク」で必要とする研修を行う。

南部ブロック5包括主催の「サロン南風」では、ケアマネジャー同士の顔の見える関係作りやニーズ把握に努るとともに研修を開催する。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

新たな課題に対して連携が取れるよう、必要に応じて様々な職種による個別ケース地域ケア会議開催する。開催後は継続的に状況の確認を行う。多職種の専門的視点を交え検討し個別支援の充実、各職の質の向上と関係機関の連携促進を図り、包括レベル地域ケア会議を年1回開催し、地域課題の解決に向けた取組を行う。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

要支援者、事業対象者に対しては、インフォーマルサービス等を含め、その人に合った効果的な支援計画を作成し、それ以上悪化させない現状維持や、状態の改善を目指すプランを作成する。

委託ケースについては、更新認定や新規認定時の担当者会議に出席し、ケアプランについてのアドバイス等を行う。各居宅の新任ケアマネに対しては、個別に予防プラン作成等についてマニュアルを配布し指導する。

民生委員、保健活動推進員、町内会役員等と連携し介護予防の普及啓発を行う。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

地域の高齢者が、住み慣れた地域で継続して生活できるよう、本人が出来る事は出来る限り行うことを基本に、主体的な活動と地域活動への参加意欲を高められるよう支援していく。

高齢者に対し、個々に必要なプログラム（介護予防教室、ほっとタイム等）、元気づくりステーション、地域のサロンや各種の教室、区役所での講演会・教室、ケアプラザの事業等を案内し、支援につなげていく。繋がらなかった方へは訪問し、状況によっては区役所と連携しながら支援していく。

新たな介護予防グループ（元気づくりステーション等）の立ち上げ支援を区役所と共に行う。

既存のサロン等には出来るだけ参加し、介護予防の普及啓発をしていく。講座の中に、地域の病院や事業所の専門職（PT、OT、ST等）による介護予防ミニ講座を入れ、日常生活の中で介護予防を実践できるよう支援していく。

その他

地域の小学校、保育園等との交流や中学校の職業体験、個別支援学級の学生を積極的に受け入れ、地域ケアプラザならではの体験を提供する。各大学の実習生も受け入れ、福祉や地域づくりへの関心を高める活動を行う。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

乳幼児から高齢者まで様々な年代や障害のある方も利用する施設として、安全性の確保と快適性を維持するため、施設の設備点検及び整備を定期的に行い、不具合が発見された場合は迅速に対応する。

日常的な維持管理は職員が行い、専門的な保守管理は専門業者に委託して、計画的、定期的に行う。また、施設開設より17年経過する中、設備、備品の経年劣化が進んでいる。大規模修繕に至らぬよう、清掃、点検、保守を定期的に行う。専門業者による建物設備管理、建物清掃、環境衛生管理を計画的に実施する。

年1回、施設管理者点検マニュアルを確認しながら施設を巡回し、機器等の作動状況や異常の有無を確認し記録する。併設施設「航」と協力して修繕を実施する。清掃については、毎日2名の専任スタッフにより適切に行う。

イ 効率的な運営への取組について

複合施設の利点を活かし、事務の一括処理、印刷機、電話回線、厨房機材等を共同使用することで効率的な運営を行う。また、法人で運営する地域ケアプラザと連携し、サービスの質の向上を図る。

職員一人一人がコスト意識を持ち経費削減に努め、節電、節水等に職員全員で取組み光熱費の削減に取り組む。ケアプラザ会議にて電気使用量の前年比較表を確認し、コスト意識を高める。

ウ 苦情受付体制について

運営法人の苦情解決に関する規則、実施要綱に則り、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を設置している。

施設内に案内を掲示し、ご意見箱を設置し、地域の方、利用者、ご家族が気軽に要望や不満、意見を言いやすい環境づくりに取り組む。

苦情を受け付けた際は、迅速に対応し現場職員、苦情受付担当者、苦情解決責任者と一体となって誠実に対応し、今後の解決策、改善策を提示する。苦情の発生から解決までを記録に残し、職員全員が共有することで再発防止に努める。

年1回、事業毎に利用者アンケートを行い、意見や要望を伺う。内容について部門ごとの会議で検討し、より良い地域ケアプラザ運営に活かしていく。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

土砂災害警戒区域にある施設であるため、避難確保計画を皆で確認し、円滑かつ迅速な安全確保を図る。また、特別避難場所として速やかに開設できるよう、特別避難場所開設・運営マニュアルを会議で定期的に確認するとともに、災害時備蓄品の整備管理を適切に行う。

不審者へは全職員で対応に当たり、窓口では受付担当がチェックし、緊急時は、警備会社へ通報が行く体制を取っている。夜間は機械警備としている。

事務所内に緊急時の連絡体制、役割分担、関係機関の一覧表を掲示し、すぐに行動できるようにしている。

ケアプラザ全職員を対象に避難訓練、初期消火訓練を併設施設と合同で行う。また、利用者避難誘導訓練を2回/年行う。

貸館利用者には、定期的に避難経路を説明し、いざというときに備えていただく。

オ 事故防止への取組について

事故防止業務改善委員会の委員は多職種で構成されており、定例会において事例検討等リスクマネジメントに対する意識を高めている。

事故発生時はケアプラザ職員の臨時会議を開催し、事故原因の究明と対策の検討を行い、職員に周知を図る。必要な場合はマニュアルの変更を行う。

通所介護事業では毎月ヒヤリハット事例を検討し、事故防止に努める。定期的な会議だけでなく日々の業務の中での職員一人ひとりの気づきも重要と考え、日常の業務の中で小さなこともヒヤリとしたことは見過ごさず報告し、ヒヤリハット報告の共有と職員のリスクマネジメントに対する意識を高める。

施設内の設備についても、危険な箇所、予測される危険箇所は、改修、修繕し事故防止する。整理整頓に職員全員で取組む。

AEDを館内に設置し緊急時に対応する。地域の方にも周知する。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

横浜市個人情報保護に関する条例、法人の個人情報保護方針に基づき、マニュアル等で個人情報の取扱いについての注意事項を定め、職員全員が遵守することによって引き続き利用者、関係者の個人情報の保護に万全を尽くす。

個人情報保護に関する通知文や事故報告は、必ず職員に配布、回覧し周知する。

個人情報は、施錠にて保管する。

年1回個人情報漏えい防止チェックリストを全員に配布し、日頃の業務を振り返る機会とし、今年度より職員全員の「個人情報保護に関する誓約書」の提出を行う。

個人情報保護統括責任者（事務局長）、個人情報保護責任者（所長）、個人情報管理者を置き、統括責任者の指示のもと個人情報の適正管理にあたる。

日々の取扱いは、マニュアルを作成し、確認表に必ず2名で確認押印し、誤送付などの事故を防止する。訪問時等の個人情報持ち出しは、ファイルに持ち出す内容を記載して管理している。

キ 情報公開への取組について

事業報告、事業計画は、地域の皆様にも閲覧できるように窓口にファイルで設置しており、ホームページにも掲載している。

介護サービス情報公表制度に基づき、毎年「基本情報」「調査情報」を公表する。

ホームページは、各部署ごとに更新し、事業情報等を周知する。

ケアプラザの広報誌「やまなみ」を3か月に1回、チラシを年7回発行し、町内会、郵便局、スーパー等に掲示、配布し、事業のお知らせだけでなく、近隣施設の事業案内も掲載する。

法人の個人情報の保護に関する規程に基づき、本人から個人データの開示の申出があった際は、開示する。

ク 人権啓発への取組について

法人の「倫理綱領」、地域ケアプラザの「倫理規定」、各部署の行動指針に基づいて行動する。全ての職員が人権問題を正しく理解し、自分の問題として捉えるよう人権研修を年1回、外部講師を招いて実施し、法人の全職員必須の研修として全員参加できるように2日間開催し、研修後にはアンケートを実施し、職員がどのように人権を捉え業務に活かそうとしているかを確認し、人権意識を高めていく。

ケ 環境等への配慮及び取組について

横浜市ゴミゼロルート回収参加施設として、ごみゼロ推進運動に取組み、再利用、分別管理の徹底を図る。

省エネルギー対策として、空調の温度設定、照明の LED 交換（長時間点灯箇所）を 29 年 3 月に実施し今年度は消費電力の削減を見込む。1 階の女子トイレにはシャワーロボ（流水音、自動流水）を設置し、節水に引き続き取組む。

プリンターのインクカートリッジは、インクカートリッジ里帰りプロジェクトに参加し、再資源化に協力する。

施設敷地内には多くの植栽があり、通学路にも面しているため、景観維持ため定期的に専門業者に依頼し美観を保つ。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤：地域包括支援センター看護師と兼務）
- ・ 看護師 1名（常勤）
- ・ 主任ケアマネジャー 1名（常勤）
- ・ 社会福祉士 2名（常勤）
- ・ ケアマネジャー 2名（非常勤）

《目標》

高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続するために、地域の高齢者の心身の健康維持、介護予防・保健・福祉・医療の向上、生活の安定のために必要な援助・支援を包括的に行う。

《実費負担》

ご利用者様の負担はありません。

《その他》

- ・ 委託ケースについては、担当者会議に出席し連携を図る。
- ・ ご利用者様には、委託契約や担当者会議等で直接お会いして顔の見える関係をつくることにより、担当ケアマネジャー等に苦情等がある場合は直接、包括支援センターに連絡頂けるようにする。
- ・ 担当者不在でも緊急時スムーズに対応できるよう包括職員間で定期的にカンファレンスを行い情報共有する。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
215	215	215	215	215	215
10月	11月	12月	1月	2月	3月
215	215	215	215	215	215

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

平成 30 年度は以下の体制で実施する。

- ・常勤 週 40 時間 4 名（うち 1 名は管理者兼務、6 月は 3 名体制）
- ・常勤兼務 週 10 時間 1 名（所長 6 月のみ）

《目標》

- ・住み慣れた地域でできる限り長くその人らしい生活ができるように、フォーマル・インフォーマルサービスを提案し支援する。
- ・自立に向けた明確な目標設定、達成度がわかりやすい個別性の高いプラン作成を行い、重度化の予防に努める。
- ・情報共有や事例検討のために週一回以上会議や勉強会を行い、また多くの外部研修にも参加することで地域の情報を収集し知識を深めるなど、ケアマネジャーの資質向上に努める。

《実費負担》

利用者様の負担はありません。

《その他》

- ・特定事業所加算Ⅱを算定（6 月 7 月はⅢを算定）する。またケアマネジャーが主任ケアマネジャーの資格を取得することを支援し、事業所のさらなる質の向上を目指す。
- ・処遇困難ケースや終末期のケースも積極的に担当し、地域包括支援センターや行政、地域の医療職やその他の多職種と協働してサービスの提供を行い、円滑な在宅生活を支援する。
- ・週一回以上の会議や内部の研修、事例検討会などを随時行う。新規ケースや困難ケースについての情報共有や支援の方向性を全員で検討することで抱え込みを防ぎ、経験やスキルに左右されない片寄りのないサービス提供を行えるようにする。また担当ケアマネジャー不在の際にも他の職員が迅速に対応し、利用者を不安にさせない、待たせないサービス提供を行う。
- ・専用の携帯電話を持つことで 24 時間相談できる体制を確保する。
- ・外部研修への積極的な参加により、医療や福祉、制度等に対する幅広い知識と多職種とのネットワークづくりを行い、質の高いサービス提供やケアマネジャーの資質向上に努める。
- ・金沢区のケアマネジャー連絡会の代表として活動し、行政や区内の医療・福祉職との連携を図り、金沢区全体のケアマネジャーの活性化に努める。

《利用者目標》

※要介護の人数（）内は予防件数

【単位：人】

4	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
110 (20)	110 (22)	110 (22)	111 (22)	115 (22)	119 (23)
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
123 (23)	127 (23)	130 (24)	134 (24)	134 (24)	134 (24)

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 1) 基本サービス
 - ①送迎サービス
 - ②健康状況の確認
 - ③介護サービス（排泄介助・食事介助等）
 - ④レクリエーション・体操
 - ⑤生活相談
 - ⑥介護相談又は介護方法の指導等
- 2) 加算サービス
 - ①入浴介助加算
 - ②個別機能訓練加算（Ⅱ）
 - ③サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ
 - ④介護職員処遇改善加算（Ⅰ）
- 3) その他（個別提供）
 - ①趣味活動・曜日毎の教室やクラブ活動
 - 月曜日・・・書道教室、絵手紙教室、体操教室
 - 火曜日・・・手作りおやつサークル、麻雀サークル、フラダンス体操
 - 水曜日・・・カラオケサークル、※脳活性サークル（平成30年度追加）
 - 木曜日・・・絵手紙教室、折紙教室、珈琲サークル
 - 金曜日・・・体操教室、音楽教室
 - 土曜日・・・カラオケサークル
 - 日曜日・・・麻雀サークル
 - 毎日・・・館内散歩、囲碁、将棋、大正琴、ピアノ、塗絵、貼絵、クラフト制作 等
 - ②行事
 - 花見、運動会、敬老会、秋祭り、クリスマス会、利用者忘年会
 - ③イベント食
 - お楽しみランチ（2回/月）、流しそうめん、昼食バイキング、ケーキバイキング、駅弁、母の日・父の日お祝い膳、お鍋、握りずしパーティー、年越しそば 等

《実費負担》

- 1) 自己負担割合1割の場合
 - (要介護1)・・・692円
 - (要介護2)・・・816円
 - (要介護3)・・・947円
 - (要介護4)・・・1,076円
 - (要介護5)・・・1,205円
- 2) 食費負担・・・700円
- 3) 加算
 - ①入浴介助加算・・・54円
 - ②個別機能訓練加算（Ⅱ）・・・60円
 - ③サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ・・・20円
 - ④介護職員処遇改善加算あり
 - ⑤送迎をしなかった場合（片道）・・・-50円
- 4) 自己負担割合2割の場合
 - (要介護1)・・・1,383円
 - (要介護2)・・・1,632円
 - (要介護3)・・・1,893円
 - (要介護4)・・・2,151円
 - (要介護5)・・・2,410円
- 5) 食費負担・・・700円
- 6) 加算
 - ①入浴介助加算・・・108円

- ②個別機能訓練加算（Ⅱ）・・・・・・・・・・120円
- ③サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ・・・・・・・・・・39円
- ④介護職員処遇改善加算あり
- ⑤送迎をしなかった場合（片道）・・・・・・101円
- 7) 介護用品使用時に実費
 - ①リハビリパンツ 1枚・・・・・・・・150円
 - ②紙オムツ 1枚・・・・・・・・200円
 - ③尿とりパット 1枚・・・・・・・・30円

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9：20 ～ 16：30

《職員体制》

- 管理者 1人（常勤）
- 生活相談員 4人（常勤4人、介護職員兼務）
- 看護職員 5人（常勤1人、非常勤4人）
- 機能訓練指導員 5人（常勤1人、非常勤4人）
- 介護職員 23人（常勤4人、非常勤19人）
- 運転手 9人（非常勤）

《目標》

- 1) 安心・安全を第一に、サービスの向上に努める。
毎月のデイサービス職員会議にてヒヤリハットを全職員に周知し、未然に事故を防ぐ。マニュアルは再確認し必要時は変更していく。
年に1回以上リスクマネジメントの研修に参加する。
- 2) ご利用者様が笑顔になれ、意欲を持ち参加できるサービスを提供していく。
趣味サークル活動などを固定の曜日に実施し、利用者が選択しやすいようにする。また、新しいサークル活動を導入し、意欲を持って参加できる活動を増やす。
スペシャルランチ等のイベント食を月に2回以上実施し、満足いく食事を提供する。
- 3) 関係機関と連絡、連携を密接に取り、質の高いサービスを提供する。
担当ケアマネージャへ利用状況を電話や書面にて報告する。
その他、緊急性のある事はもちろん、変わった様子はすぐに連絡する。

《その他》

- 1) 地域の施設、小学校や保育園とレクリエーションなどを通し交流を行う。
- 2) 施設的环境を活かし、山を見ながら屋上までの館内散歩を毎日実施。また、裏山の竹を利用し、流しそうめんを実施、ベランダのプランターでの園芸活動を行う。
- 3) 季節ごとの食事、「鍋パーティー」「バイキング食」「寿司パーティー」「懐石風料理」「年越し蕎麦（蕎麦打ち体験）」など様々なイベント食の提供を行う。
- 4) 季節の行事（花見、運動会、敬老会、秋祭り、クリスマス会、忘年会）を実施する。
- 5) 毎月、入浴週間を設け、浴室を飾り季節を感じていただく。
- 6) ご利用者のニーズに応えられる各曜日にサークル活動・教室を実施する。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
685	710	685	710	710	685
10月	11月	12月	1月	2月	3月
710	685	630	630	630	710

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 1) 基本サービス
 - ①送迎サービス
 - ②健康状況の確認
 - ③介護サービス（排泄介助・食事介助等）
 - ④レクリエーション・体操
 - ⑤生活相談
 - ⑥介護相談又は介護方法の指導等
- 2) 加算サービス
 - ①運動器機能訓練向上加算
 - ②サービス提供体制強化加算（Ⅱ）
 - ③介護職員処遇改善加算（Ⅰ）
- 3) その他（個別提供）
 - ①趣味活動・曜日毎の教室やクラブ活動
 - 月曜日・・・書道教室、絵手紙教室、体操教室
 - 火曜日・・・手作りおやつサークル、麻雀サークル
 - 水曜日・・・カラオケサークル
 - 木曜日・・・絵手紙教室、折紙教室、珈琲サークル
 - 金曜日・・・体操教室、音楽教室
 - 土曜日・・・カラオケサークル
 - 日曜日・・・麻雀サークル
 - 毎日・・・館内散歩、囲碁、将棋、大正琴、ピアノ、塗絵、貼絵クラフト制作
 - ②行事
 - 花見、運動会、敬老会、秋祭り、クリスマス会、忘年会
 - ③イベント食
 - お楽しみランチ（2回/月）、流しそうめん、昼食バイキング、
 - ケーキバイキング、駅弁、母の日・父の日お祝い膳、お鍋、
 - 握りずしパーティー、年越しそば 等

《実費負担》

- 1) 自己負担割合1割の場合
 - （要支援1）・・・・・・・・・・ 1, 776円
 - （要支援2）・・・・・・・・・・ 3, 621円
- 2) 食費負担 ・・・・・・・・・・ 700円
- 3) 加算
 - ①サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ
 - （要支援1）・・・・・・・・・・ 78円
 - （要支援2）・・・・・・・・・・ 155円
 - ②運動器機能向上加算 ・・・・・・・・ 242円
 - ③介護職員処遇改善加算あり
- 4) 自己負担割合2割の場合
 - （要支援1）・・・・・・・・・・ 3, 531円
 - （要支援2）・・・・・・・・・・ 7, 241円
- 5) 食費負担 ・・・・・・・・・・ 700円
- 6) 加算
 - ①サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ
 - （要支援1）・・・・・・・・・・ 155円
 - （要支援2）・・・・・・・・・・ 309円
 - ②運動器機能向上加算 ・・・・・・・・ 242円
 - ③介護職員処遇改善加算あり

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9：20 ～ 16：30

《職員体制》

管理者 1人（常勤）
生活相談員 4人（常勤4人、介護職員兼務）
看護職員 5人（常勤1人、非常勤4人）
機能訓練指導員 5人（常勤1人、非常勤4人）
介護職員 23人（常勤4人、非常勤19人）
運転手 9人（非常勤）

《目標》

- 1) 利用者の特性を踏まえ、自立した日常生活の維持・向上を目標としサービスを提供する。
洗濯物たたみや茶碗洗い、テーブル拭き等を職員、ボランティアと共に実施し自立した在宅生活を続けられる支援をする。
- 2) 安心・安全を第一に、サービスの向上に努めていく。
毎月のデイサービス職員会議にてヒヤリハットを全職員に周知し、未然に事故を防ぐ。マニュアルは再確認し必要時は変更していく。
年に1回以上リスクマネジメントの研修に参加する。
- 3) ご利用者様が笑顔になれ、意欲を持ち参加できるサービスを提供していく。
趣味活動のサークル活動などを固定の曜日に実施し、利用者が選択しやすいようにする。また、新しいサークル活動を導入し、意欲を持って参加できる活動を増やす。
スペシャルランチ等のイベント食を2回/月以上実施し、満足いく食事を提供する。
- 4) 関係機関と連絡、連携を密接に取り、質の高いサービスを提供する。
担当ケアマネージャへ利用状況を電話や書面にて報告する。
その他、緊急性のある事はもちろん変わった様子はすぐに連絡する。

《その他》

- 1) 地域の施設、小学校や保育園とレクリエーションなどを通し交流を行う。
- 2) 施設的环境を活かし、山を見ながら屋上までの館内散歩を毎日実施。また、裏山の竹を利用し、流しそうめんを実施、ベランダのプランターでの園芸活動を行う。
- 3) 季節ごとの食事、「鍋パーティー」「バイキング食」「寿司パーティー」「懐石風料理」「年越し蕎麦（蕎麦打ち体験）」など様々なイベント食の提供を行う。
- 4) 季節毎の行事（花見、運動会、敬老会、秋祭り、クリスマス会、忘年会）を実施する。
- 5) 毎月、入浴週間を設け、浴室を飾ることで季節を感じていただく。
- 6) ご利用者のニーズに応えられる各曜日にサークル活動・教室を実施する。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
20	20	20	20	20	20
10月	11月	12月	1月	2月	3月
20	20	20	20	20	20

平成30年度「壺谷地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,444,175		15,444,175	15,444,175	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	580,000		580,000	580,000	0	
収入合計	19,611,675	0	19,611,675	19,611,675	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,701,000		11,701,000	0	11,701,000	
本俸	9,500,000		9,500,000	0	9,500,000	
社会保険料	1,030,000		1,030,000	0	1,030,000	
手当計	900,000		900,000	0	900,000	
健康診断費	15,000		15,000	0	15,000	
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000	0	6,000	ハマホムんぼ
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	0	100,000	
その他	150,000		150,000	0	150,000	
事務費	1,931,000		1,931,000	0	1,931,000	
旅費	6,000		6,000	0	6,000	
消耗品費	350,000		350,000	0	350,000	
会議随費	35,000		35,000	0	35,000	
印刷製本費	350,000		350,000	0	350,000	
通信費	350,000		350,000	0	350,000	
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	78,000		78,000	0	78,000	
職員等研修費	5,000		5,000	0	5,000	
振込手数料	2,000		2,000	0	2,000	
リース料	15,000		15,000	0	15,000	
手数料	35,000		35,000	0	35,000	
地域協力費	5,000		5,000	0	5,000	
その他	700,000		700,000	0	700,000	
事業費	942,675		942,675	0	900,675	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算・指定額
指定管理料充当 事業	900,675		900,675	0	900,675	
管理費	4,101,000		4,101,000	0	1,501,000	
建築物・建築設備点検	35,000		35,000	0	35,000	予算・指定額
光熱水費	2,600,000		0	0	0	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	この列は入力しない
水道料金			0	0	0	
清掃費	330,000		330,000	0	330,000	
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算・指定額
機械整備費	45,000		45,000	0	45,000	
設備保全費	617,000		617,000	0	617,000	
空調衛生設備保守	200,000		200,000	0	200,000	
消防設備保守	65,000		65,000	0	65,000	
電気設備保守	50,000		50,000	0	50,000	
害虫駆除清掃保守	32,000		32,000	0	32,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	270,000		270,000	0	270,000	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	936,000	0	936,000	0	936,000	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	936,000		936,000	0	936,000	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二一対対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	19,611,675	0	19,611,675	0	16,969,675	
差引	0	0	0	19,611,675	△ 16,969,675	

自主事業費収入	900,675		900,675	0	900,675	
自主事業費支出	900,675		900,675	0	900,675	
自主事業収支	0	0	0	0	0	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「釜利谷地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,377,902		28,377,902		28,377,902	横浜市より
指定管理料(介護予防)	150,000		150,000		150,000	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0		0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0		0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0		0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0		0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	34,316,902	0	34,316,902	0	34,316,902	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,246,902	0	30,246,902	0	30,246,902	
本俸	19,500,000		19,500,000		19,500,000	
社会保険料	3,796,902		3,796,902		3,796,902	
手当計	5,300,000		5,300,000		5,300,000	
健康診断費	60,000		60,000		60,000	
勤労者福祉共済掛金	40,000		40,000		40,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	600,000		600,000		600,000	
その他	950,000		950,000		950,000	
事務費	1,595,000	0	1,595,000	0	1,595,000	
旅費	30,000		30,000		30,000	
消耗品費	300,000		300,000		300,000	
会議贈い費	10,000		10,000		10,000	
印刷製本費	250,000		250,000		250,000	
通信費	200,000		200,000		200,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0				0	
その他	0				0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	300,000		300,000		300,000	
職員等研修費	60,000		60,000		60,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	5,000		5,000		5,000	
手数料	20,000		20,000		20,000	
地域協力費	10,000		10,000		10,000	
その他	400,000		400,000		400,000	
事業費	1,289,000	0	1,289,000	0	1,289,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算・指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	200,000		200,000		200,000	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	150,000		150,000		150,000	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000		309,000	予算・指定額
管理費	1,186,000	0	1,186,000	0	1,186,000	
建築物・建築設備点検	10,000		10,000		10,000	予算・指定額
光熱水費	760,000	0	760,000		760,000	
電気料金			0		0	
ガス料金			0		0	この列は入力しない
水道料金			0		0	
清掃費	100,000		100,000		100,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算・指定額
機械警備費	20,000		20,000		20,000	
設備保全費	170,000	0	170,000	0	170,000	
空調衛生設備保守	60,000		60,000		60,000	
消防設備保守	20,000		20,000		20,000	
電気設備保守	20,000		20,000		20,000	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000		10,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	60,000		60,000		60,000	
共益費	0		0		0	
その他	0		0		0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一対応費			0		0	
支出合計	34,316,902	0	34,316,902	0	34,316,902	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	0					
自主事業費支出	0					
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 釜利谷地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護			
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入	5,570,000		5,570,000	27,290,000		27,290,000	77,254,000		77,254,000	8,219,000		8,219,000	
	その他	3,567,000	0	3,567,000	583,000	0	583,000	16,480,400	0	16,480,400	1,693,000	0	1,693,000	
	介護予防ケアマネジメント費	3,567,000		3,567,000			0			0			0	
	事業・負担金収入			0			0	15,630,400		15,630,400	1,693,000		1,693,000	
	認定調査			0	583,000		583,000			0			0	
				0			0			0			0	
				0			0			0			0	
				0			0			0			0	
				0			0	850,000		850,000				0
		収入合計(A)	9,137,000	0	9,137,000	27,873,000		27,873,000	93,734,400		93,734,400	9,912,000	0	9,912,000
支出	人件費	2,669,000		2,669,000	22,790,000		22,790,000	70,380,000		70,380,000			0	
	事務費	800,000		800,000	1,095,000		1,095,000	5,940,000		5,940,000			0	
	事業費	50,000		50,000	50,000		50,000	9,145,000		9,145,000			0	
	管理費			0			0	13,650,000		13,650,000			0	
	その他	3,100,000	0	3,100,000	35,000	0	35,000	3,587,500	0	3,587,500	0	0	0	
	利用者負担軽減額			0			0			0			0	
	消費税			0	35,000		35,000			0			0	
	介護予防プラン委託料	3,100,000		3,100,000			0			0			0	
				0			0	3,587,500		3,587,500				0
				0			0			0				0
			0			0			0				0	
			0			0			0				0	
	支出合計(B)	6,619,000	0	6,619,000	23,970,000	0	23,970,000	102,702,500	0	102,702,500	0	0	0	
	収支 (A) - (B)	2,518,000	0	2,518,000	3,903,000	0	3,903,000	-8,968,100	0	-8,968,100	9,912,000	0	9,912,000	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市釜利谷地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
盆おどりとふるさと民踊	事業者	¥36,751	地活	¥9,751	¥27,000	¥0	¥36,751	¥0	¥0
	135名		包括	¥0					
	200円		生活	¥0					
かまりやボランティアポイント「ひこうき」	障害者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	5名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
月曜日には体操を	中高年	¥60,000	地活	¥0	¥60,000	¥0	¥60,000	¥0	¥0
	200名		包括	¥0					
	300円		生活	¥0					
放課後活動「かまりやクラブ」	学齢障がい児	¥15,000	地活	¥5,000	¥10,000	¥0	¥0	¥0	¥15,000
	50名		包括	¥0					
	200円		生活	¥0					
ゴスペル教室	地域	¥261,719	地活	¥31,719	¥230,000	¥0	¥261,719	¥0	¥0
	230名		包括	¥0					
	1000円（障がい児者150円）		生活	¥0					
釜利谷親子ほっとサロン	未就園児親子	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	500名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
車椅子の貸し出し	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	50名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
もんきっきクラブ	2～3歳児親子	¥71,822	地活	¥31,822	¥40,000	¥0	¥66,822	¥0	¥5,000
	100名		包括	¥0					
	400円		生活	¥0					
ブラレール広場	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	150名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
一緒に歌を歌いましょう	地域	¥77,950	地活	¥29,950	¥48,000	¥0	¥77,950	¥0	¥0
	120名		包括	¥0					
	400円		生活	¥0					
横浜市大ボランティア講座	大学生	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	50名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
きぐちゃんの からだ遊び・こころ遊び「表わら帽子クラブ」	1～4歳児親子	¥66,820	地活	¥34,820	¥32,000	¥0	¥66,820	¥0	¥0
	80名		包括	¥0					
	400円		生活	¥0					
フェスタボラ&貸館交流会	貸館利用者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	10名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
はぐくみ会	子育て支援者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	39名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
カモミール	障がい児を持つ親	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	100名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
ママと赤ちゃんのたいそう&ストレッチ全5回	0歳児親子	¥66,822	地活	¥46,822	¥20,000	¥0	¥66,822	¥0	¥0
	50名		包括	¥0					
	400円		生活	¥0					

平成30年度 自主事業収支計画書

親子3B体操教室	2～4歳児親子	¥60,138	地活	¥36,138	¥24,000	¥0	¥60,138	¥0	¥0
	60名		包括	¥0					
	400円		生活	¥0					
はりねずみのお針箱& 和ティーサロン	中高年	¥12,354	地活	¥6,177	¥0	¥0	¥0	¥12,354	¥0
	100名		包括	¥6,177					
	0円		生活	¥0					
すみなすフェスタ	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	1000名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
地域支えあい連絡会	地域支援者等	¥23,571	地活	¥23,571	¥0	¥0	¥0	¥0	¥23,571
	100名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
おはなし会	未就園児親子	¥15,588	地活	¥15,588	¥0	¥0	¥15,588	¥0	¥0
	70名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
びよんたクラブ	1～6歳児親子	¥28,228	地活	¥10,228	¥18,000	¥0	¥26,728	¥0	¥1,500
	60名		包括	¥0					
	300円		生活	¥0					
地域でできること・私 たちができること 情 報交換会編～お茶の間 なないろ～	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	50名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
つながりの会	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	50名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
ちょっとおじゃましま す	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	500名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
あんしんして暮らすた めの10分間講座	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	300名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
パーキンソン病交流会 「やまゆり会」	当事者と家族	¥5,690	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥5,690
	20名		包括	¥5,690					
	0円		生活	¥0					
ほっとタイム	高齢者	¥3,000	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥3,000
	80名		包括	¥3,000					
	0円		生活	¥0					
介護者のつどい	介護者	¥13,000	地活	¥0	¥0	¥0	¥3,000	¥10,000	¥0
	100名		包括	¥13,000					
	0円		生活	¥0					
釜利谷地域ケアプラザ 認知症 キャラバン・ メイト交流会	キャラバンメイト	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	10名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
かのん保育園との交流	保育園児	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	200名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
くらしの教室	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	80名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
自治会町内会向け認知 症サポーター養成講座	自治会町内会	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	150名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
行政書士による個別相 談会	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	5人		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					

平成30年度 自主事業収支計画書

きぐちゃんのしあわせのおすそわけ～子育ての不安から期待へ～	乳幼児を持つ親	¥13,364	地活	¥9,364	¥4,000	¥0	¥13,364	¥0	¥0
	20名		包括	¥0					
	200円		生活	¥0					
1歳児向け親子たいそう遊び	1歳児親子	¥53,458	地活	¥21,458	¥32,000	¥0	¥53,458	¥0	¥0
	80名		包括	¥0					
	400円		生活	¥0					
釜利谷南小学校3年生 またたんけん	小学生	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	50名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
サマーフレンド(9館合同)	障がい児	¥6,500	地活	¥3,200	¥3,300	¥0	¥0	¥5,000	¥1,500
	20名(9館)		包括	¥0					
	1500円		生活	¥0					
ラジオ体操講習会	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	80名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
医療講演会	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	50名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
かまりや英語クラブ	障がい児者と家族	¥68,816	地活	¥51,316	¥17,500	¥0	¥66,816	¥2,000	¥0
	50名		包括	¥0					
	350円		生活	¥0					
ピラティス教室	地域	¥298,816	地活	¥58,816	¥240,000	¥0	¥213,816	¥0	¥85,000
	400名		包括	¥0					
	600円		生活	¥0					
親子向け栄養講座	未就学児と保護者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	50名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
子育て支援講座	就学前の子を持つ親	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	30名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
親子de体操講習会	1歳児と保護者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	40名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
ウォーキング講習会	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	50名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
手話ダンスとミニコンサートを楽しむ会	高齢者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	60名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
かまりや一の	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	50名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
終活セミナー全3回	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	30名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
保育園向け認知症サポーター養成講座	年長児と保育士	¥3,000	地活	¥1,000	¥0	¥0	¥0	¥3,000	¥0
	100名		包括	¥1,000					
	0円		生活	¥1,000					
かまりやサロン	地域	¥3,000	地活	¥1,000	¥0	¥0	¥0	¥3,000	¥0
	50名		包括	¥1,000					
	0円		生活	¥1,000					
森の小道やまなみ	地域	¥45,400	地活	¥1,800	¥40,000	¥0	¥5,400	¥40,000	¥0
	160名		包括	¥1,800					
	300円(食事)50円(コーヒー) 100円(ティー&クッキー)		生活	¥1,800					
簡単ストレッチ講座	高齢者	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	70名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					

平成30年度 自主事業収支計画書

親子音楽会	未就園児親子	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	30名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
「地域でできること私たちにできること」講演会	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	30名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
横浜子育てサポートシステム入会説明会	養育者等	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	10名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
横浜シニアボランティア登録研修会	地域	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	10名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
自治会町内会向け、認知症サポーター養成講座	自治会町内会	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	100名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
自治会・町内会向け出張講座	自治会町内会	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	100名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
職業体験富岡中学校	中学生	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	5名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
福祉体験並木中学校	中学生	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	3名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
地域実習横浜市大看護科	大学生	¥0	地活	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	3名		包括	¥0					
	0円		生活	¥0					
認知症講演会	地域	¥30,000	地活	¥10,000	¥0	¥0	¥30,000	¥0	¥0
	50名		包括	¥10,000					
	0円		生活	¥10,000					
			地活						
			包括						
			生活						

平成30年度 自主事業計画書

横浜市釜利谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
盆おどりとふるさと民踊	盆おどりを通して心身の健康維持、認知症予防、仲間作りの場としていただく。 ・盆おどり ・ふるさと民踊	毎月・年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かまりやボランティアポイント「ひこうき」	ボランティア活動を通して身近な社会のしくみの体験とライフスキル支援を目的とする。 ・車椅子清掃 ・館内清掃	通年・随時

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
月曜日には体操を	日頃の生活の中でも続けられる動きを中心に指導いただき、介護予防、身体機能維持、腰痛・膝痛予防に役立てていただくとともに、参加者同士の交流、職員に気軽に相談ができる環境や情報収集の場の提供を行う。 ・体操教室	毎月・年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
放課後活動「かまりやクラブ」	小・中学校の個別支援学級と養護学校高等部に通う児童を対象に、ボランティア活動と子ども同士の交流、多世代のボランティアとの交流の場を提供することで、社会に出る準備の場とする。また、障がい児向けボランティア育成の場ともする。 ・障がい児のボランティア活動 ・フリースペース	毎月・年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゴスペル教室	声を出すことによる心身の健康づくりと、障がい者・健常者・あらゆる世代の方がゴスペルを通してひとつになる場とする。また英語の歌詞により異言語による脳の活性化にも役立てる。また、ボランティア育成の場ともしている。 ・ゴスペル ・ストレッチ体操	毎月・年12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
釜利谷親子ほっとサロン	同世代の子を持つ親同士の交流の場と、関係機関が協働しサロンを開催することで広い視野での情報提供と相談の場の提供を行う。また地域のニーズを拾う場ともする。 ・親子サロン ・ミニイベント	毎月・年11回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
車椅子の貸し出し	介護支援を目的とする。 ・車椅子の貸し出し（2週間以内）	通年・随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
もんきつきクラブ	“赤ちゃん”の時期が終わり個人差が出てくる時期に、成長の違いを感じながらも自分のペースを守りながらの参加、他者の影響を受ける参加と個々に合わせた参加の場とし、次の段階へ繋げる場ともしたい。また、乳幼児を持つ母親の社会資源としての活躍の場としても機能させる。 ・親子たいそう ・リトミック ・母親向け体操 ・読み聞かせ	夏期・冬期 年10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
プラレール広場	集団で協力しながらひとつのものを作る喜びを知っていただくとともに、保護者同士および多世代交流の場ともしている。男性ボランティアの活動の場ともしている。 ・プラレール遊び	隔月・年5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
一緒に歌を歌いましょう	歌を歌うことを通しての健康維持と、参加者同士の交流、職員に気軽に相談できる環境や情報収集の場の提供を行う。 ・童謡・唱歌・流行歌を中心とした歌の教室。 ・ストレッチ	毎月・年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜市大ボランティア講座	大学に広くボランティア活動の啓発を行い、ボランティア活動を行うきっかけをつくり、ボランティア活動者の養成・獲得を目指すとともに、社会教育の一環ともしたい。 ・ボランティア活動についての講義 ・活動者の話 ・活動先の紹介 ・体験実習 ・報告会（振り返り）	春期・年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きぐちゃんのからだ遊び・こころ遊び「麦わら帽子クラブ」	子どもの自主性、自発性を尊重し、子ども自身が動くことを学び、動きを通して、からだ・あたま・こころの調和のとれた発達を援助する。障がい児は優先的に受け入れる。 ・ムーブメント ・絵本のよみ遊び	毎月・年12回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
フェスタボラ&貸館交流会	ボランティアへの意識付けと貸館利用団体同士の情報交換 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動 ・貸館利用団体同士の情報交換 ・貸館利用について 	5月・年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はぐくみ会	子育て支援者・相談者同士の事例検討や、講師を招き勉強会を開き地域住民からのさまざまな相談に対応できるようにするとともに、ここで得た情報や知識をそれぞれが関わる親子の支援にもつなげていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てについての勉強会 	毎月・年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カモミール	釜利谷エリアを中心とした障がい児を持つ保護者の支援を目的とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある子を持つ母親の情報交換等 	毎月・年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママと赤ちゃんのたいそう&ストレッチ 全5回	乳児を持つ母親の健康づくりと”楽しむ子育て”を知っていただく場とし、心身のリラックスとともに閉じこもりがちなこの時期を同じ乳児を持つ親同士が交流することで、悩みや楽しみを共有する場とする。また、子育て支援ボランティアの活躍・育成の場ともする。 <ul style="list-style-type: none"> ・母親向け体操 ・親子のふれあい遊び ・親子でのリラクゼーション 	不定期・年6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子3B体操教室	2～3歳児親子を対象に健康づくりの場を提供するとともに、あいさつや順番といったことも意識して教室に取り入れ、社会に出る第一歩としての機能も持たせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・親子体操(3B体操) ・母親向け体操 	毎月・年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はりねずみのお針箱&和ティーサロン	中高年の方同士の交流や地域資源の発掘をする場として機能させるとともに、今年度からはサロンも同時開催することになり、ミニデイ的な機能を持たせる場としても本格的に始動していく。また、スープを提供することで、孤食がちな日常から皆で食事をする楽しさも味わっていただく。 <ul style="list-style-type: none"> ・手芸サロン ・おしゃべり会 ・ミニ会食 ・相談援助 	隔月・年6回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すみなすフェスタ	地域に向けての施設の周知と、地域と施設の交流や地域の活動の場の提供を行う。 ・フェスタ ・体力・健康測定 等	6月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支えあい連絡会	日常生活圏において「誰もが地域で安心した生活を送る」ために、地域の困りごと、援助してもらいたいことを地域の中で拾い上げ、地域の中でささえていくことを目的とする。 日常生活圏において「誰もが地域で安心した生活を送る」ために、地域の困りごと、援助してもらいたいことを地域の中で拾い上げ、地域の中でささえていくことを目的とする。また、地域支援者同士の情報交換の場としても機能させている。	四半期・年4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おはなし会	子どもたちが発達していく過程で心の豊かさを育むとともに、家庭内においてのよみ聞かせや遊び等の参考にしていただきたい。 ・絵本の読み聞かせ ・わらべ唄 ・パネルシアター ・手遊び	四半期・年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぴよんたクラブ	1歳から6歳までの、子どもとしては幅広い年齢層対象での親子体操を開催することで、子ども間での異世代交流の場を提供するとともに、保護者間での先輩ママとの交流を通じて悩みや楽しさを共有できる場とする。 ・親子ふれあい体操 ・母親向け体操 ・絵本の読みきかせ	春期・秋期・冬期 年8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域でできること・私たちにできること 情報交換会編～お茶の間ないろ～	地域の方を対象に”自分にできること”を中心に話し合いを行い、”地域の助け合い”につなげていく。 ・助け合いについての情報交換	秋期・冬期 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
つながりの会	釜利谷の担当地域で活動されているボランティアグループの情報交換を主な目的とした交流会の開催。 ・地域で活動されているグループ同士の情報交換や交流の場	半期・年2回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちよっとおじゃまします	地域包括支援センターと地域活動交流の職員が町内会のサロン等に気軽に立ち寄り、5分間程度地域住民目線で、消費者被害や空き巣、交通安全の情報提供や消費者被害、詐欺、空き巣、交通事故等に遭わないための話しや交流を図ってくる。 ・給付金詐欺、架空請求、オレオレ詐欺等	不定期・年10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あんしんして暮らすための10分間講座	地域活動交流が主催する教室等に、不定期に包括の職員が教室開始10分の間に、消費者被害や空き巣、交通安全等の情報提供を行うなどし、暮らしの安全に役立てていただく。 ・消費者被害、詐欺、空き巣、交通事故等に合わないための注意喚起。	不定期・年20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パーキンソン病交流会 「やまゆり会」	情報交換や交流を通して疾病への知識を深めるとともに、当事者や家族が地域で支え合う場とする。 ・講座 ・参加者同士の交流会 ・情報交換（フリートーク） ・パーキンソン病におけるリハビリ、家でできる運動について	半期・年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとタイム	気軽に楽しく参加できる交流の場。体操・認知症予防ゲーム・音楽、口腔ケア、終活など月によってさまざまなレクリエーション、会食などの活動を通して楽しく過ごす場。住民が交流を深めることで地域の中で顔見知りの関係ができ、孤立を防止し生きがいづくりや社会参加、介護予防を目的とする。 ・講座 ・昼食会 ・ミニコンサート ・お茶会	隔月・年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	介護者同士が日頃の介護を通じての介護者の思いの共有や情報交換を行う場の共有とともに、ケアプラザから介護者に対して必要な情報や支援を提供できる場とする。 ・施設見学会 ・講座 ・おしゃべりの会	隔月・年6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
釜利谷地域ケアプラザ認知症キャラバン・メイト交流会	釜利谷地域エリア内のキャラバン・メイト同士の交流会。困りごとや不安など話して、よりよい活動に繋がられるようにする。 ・キャラバン・メイト有資格の交流会。	夏期・年1回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かのん保育園との交流	異世代交流と福祉教育を目的とする。 ・園児とデイサービス利用者との交流 ・園児による手作りカレンダーの受け取り	毎月・年12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
くらしの教室	くらしに役立つ情報を発信する。振り込め詐欺、空き巣、悪質商法の手口と対策等を発信することで、被害を未然に防ぎ、ケアプラザが身近な相談窓口であることを広めたい。 ・消費者被害等の講座 ・金沢消防署職員による講座	半期・年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自治会町内会向け認知症サポーター養成講座	自治会町内会住民を対象に、認知症について正しく理解し、認知症の人と家族を温かく見守り、支援する応援者を養成する。 ・認知症サポーター養成講座	不定期・年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
行政書士による個別相談会	成年後見制度の普及啓発、遺言等の相談の場とする。 ・成年後見制度や遺言等の相談	夏期・年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
きぐちゃんのしあわせのおすそわけ～子育ての不安から期待へ～	子育て中の母親を中心に、子育ての悩みや不安を皆で共有し話し合うことで、不安から期待に変えていく。 ・親子ふれあい遊び ・”こどもの育ち” についての話し合い	夏期・秋期 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
1歳児向け親子たいそう遊び 全4回	”赤ちゃん”の時期が終わり、発育・発達の個人差が出てくる時期に、同年齢の中で比較することなくわが子の成長を見守れる場とする。 ・母親向け健康体操 ・親子ふれあい体操	夏期・冬期・年8回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
釜利谷南小学校3年生 まちたんけん	社会科の授業として、ケアプラザの機能や施設について学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラザの機能についての学習 ・デイサービスの見学 ・福祉用具体験 	夏期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サマーフレンド (9館合同)	学齢期障がい児の余暇支援を行うとともに、障がい児をサポートするボランティアの育成および福祉体験学習の場としても機能させる。また、区社協、区内9ケアプラザの協働で事業を展開することで、金沢区の障がい児支援事業の更なる向上をめざす。 <ul style="list-style-type: none"> ・夏まつり ・外出（船に乗る） 	夏期・年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ラジオ体操講習会	ラジオ体操を通じて、地域の方の健康づくりと交流の場の提供を目的とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・「ラジオ体操」講習会 	夏期・年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
医療講演会	講演会を通じて、病気の早期発見や予防に役立てていただく。 <ul style="list-style-type: none"> ・講演会 	秋期・冬期 年3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
かまりや英語クラブ	外国語の習得を通じて世界を広げていただくとともに、交流の場ともしていただく。 <ul style="list-style-type: none"> ・英会話 ・英語遊び 	毎月・年10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ピラティス教室	ピラティスを通して日頃の健康づくりに役立てていただくとともに、将来的にはボランティアとしても活動していただく。 <ul style="list-style-type: none"> ・ピラティス教室 	年間・年24回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子向け栄養講座	これから成長していく子を持つ母親を対象に、体にいい献立や楽しい食事について知っていただく。 <ul style="list-style-type: none"> ・栄養士からのほなし ・メニュー紹介 ・試食 ・人形劇 	年間・年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援講座	2～3歳児向けの保護者に向けての講演会を行い、子育ての悩みの解消に役立てていただく。 <ul style="list-style-type: none"> ・講演会 	年間・年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子de体操講習会	親子でストレッチをしながら、体のこりや痛みを和らげ、心身ともにリフレッシュしていただく。 <ul style="list-style-type: none"> ・親子体操 ・母親向けのストレッチ 	年間・年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ウォーキング講習会	ウォーキングにより、身心の健康づくりを意識していただくとともに、仲間作りの場としていただく。 <ul style="list-style-type: none"> ・”正しい歩き方について”の講義 ・ウォーキング（釜利谷緑道） 	年間・年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
手話ダンスとミニコンサートを楽しむ会	高齢者の健康づくりと交流の場の提供を目的とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・手話ダンス ・ミニコンサート 	年間・年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
かまりや一の	「これからも住み慣れた地域で安心して暮らしていくにはなにがあったらいいか」を地域全体で話し合い実現していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・「これからも住み慣れた地域で安心して暮らしていくにはなにがあったらいいか」について様々な手法を用い話し合いを行う。 	半期・年2回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
終活セミナー 全3回	自分らしい人生の最期を迎えるために準備できることを考えていく。 ・「自分らしいお葬式とお墓」をテーマに自分らしい人生の最期を迎えるために準備できることを考える。 ・成年後見制度 ・高齢者のための住まいの選び方	年間・年3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
保育園向け 認知症サポーター 養成講座	保育園児と保育士を対象に、高齢者や認知症の方の理解につなげる。 ・釜利谷保育園の年長児と保育士に向けての認知症サポーター養成講座	年間・年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
かまりやサロン	参加者がさまざまな情報が得られ、心理的な不安の軽減・心のよりどころとなる場所の提供。サロンに出向くことで地域や社会とつながり、友人や仲間づくりの場を作る。また、医療、福祉、介護の専門職とつながることで認知症の方の変化に早く気づき適切な処置を受けることができる。 ・相談 ・情報交換 ・交流の場の提供	毎月・年12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
森の小道やまなみ	サロンを開催することにより、食・居場所・世代を越えた交流の場の提供を行うとともに、ボランティア育成やケアプラザを身近な相談の場として知っていただく機会ともしたい。また、学生の職業体験・福祉体験・社会体験の場としても機能させたい。 ・会食 ・ミニ講座 ・フリースペース ・獅子舞の披露	秋期・冬期 年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
簡単ストレッチ講座	高齢者の健康づくりと交流の場の提供を目的とする。 ・椅子に座ったストレッチ	年間・年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子音楽会	小さなお子さんと保護者を対象に、身近で本格的な音楽に触れる機会と、気兼ねなく音楽を楽しんでいただく場の提供を行う。また地域とのつながりをつくる場ともしたい。 ・弦楽四重奏を楽しむ	年間・年1回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
「地域でできること 私たちにできること」講演会	講演会を通して障がい者理解と支援者の育成を目的とする。また、「地域でできることや、自分自身にできること」を考えるきっかけとしたい。 ・発達しょう害に関する講演会	年間・年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
横浜子育てサポートシステム入会説明会	地域の中で子どもを預けたい人と預かる人をつなぐことで人と人のつながりを広げ、地域全体で子育てを応援する仕組みを築く。 ・「子育てサポートシステム」入会説明会	後期・年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
よこはまシニアボランティア登録研修会	生活圏でシニアボランティア登録会を開催することで、ボランティアの啓発に努めるとともに、ボランティア活動を身近に感じていただく。 ・シニアボランティアポイント登録説明会	年間・年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
自治会・町内会向け 認知症サポーター養成講座	自治会・町内会の住民を対象に、認知症について正しく理解し、認知症の人と家族を温かく見守り、支援する応援者を養成する。 ・認知症講座 ・認知症についてのDVD鑑賞	年間・年6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
自治会・町内会向け 出張講座	地域に出向きケアプラザ周知と地域の方との交流を図るとともに、介護予防の啓発と介護保険利用についての説明を地域に出向いて行う。 ・ケアプラザについて ・地域包括支援センターについて ・介護保険の申請について ・介護予防について ・施設の種類について	年間・年4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
職業体験 富岡中学校	将来の進路決定にあたって、広い視野で真剣に臨む心と、福祉を通しての社会を知るきっかけとしていただく。 ・デイサービスでの体験	年間・年2回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
福祉体験 並木中学校	福祉教育を通じて福祉を知るとともに、地域や異世代の人との関わりについて考えるきっかけとしていただきたい。 ・デイサービスでの体験	年間・年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域実習 横浜市大看護科	地域看護活動の対象としての個人・家族・集団および地域・コミュニティの特性や健康課題の理解。 地域ケアプラザの事業や担当職種を理解し、地域包括ケアシステムの構築に果たす役割を考察する。 地域看護活動の対象としての個人・家族・集団および地域・コミュニティの特性や健康課題の理解。 地域ケアプラザの事業や担当職種を理解し、地域包括ケアシステムの構築に果たす役割を考察する。	年間・年4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症講演会	認知症を予防する方法として、生活習慣病予防することが大切という事を学び、今日から出来る事を実践出来るようにする。 ・認知症の予防を中心とした講演会	年間・年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数